









平成 2 年 9 月 15 日

教養の向上に絶好の季節  
各種講座に参加しません

青少年ホーム講座

自然の草木の実や樹皮を使い、素朴な風合いに染め上げます。

日時／十月十六 二十三  
十日の午前九時三十分から十一時三十分。

齋藤光司先生

地域理解を深めることを目的に地域の歴史、偉人、文化を掘り起こし、時代の流れとそこに生きてきた人々の暮らしぶりを

## ふるさと講座の日程

日 程	テ 一 マ	講 師
10月18日(木)	黒潮が運んだ安房の味	館山市文化財審議会会长 君塚文雄
10月26日(金)	郷土に輝く人々一日蓮一	敬愛短期大学教授 川村 伸
11月 1 日(木)	安房忌部のふるさとを訪ねて	博物館学芸員 杉江 雄
11月 8 日(木)	郷土に輝く人々—菱川師宣—	安房博物館館長 仁科又次
11月15日(木)	里見氏と石堂寺	石堂寺住職 石堂晃信
11月22日(木)	悲運の青年武将—里見義康・忠義	館山市文化財審議会委員 小宮義夫
11月29日(木)	郷土に輝く人々—新井文山—	館山市文化財審議会会长 君塚文雄
12月 6 日(木)	春日局と稲葉館山藩	前佐倉市長 堀田正久
12月13日(木)	明治維新と千葉県の誕生	千葉県文書館嘱託 三浦茂一
12月20日(木)	房総と戦争	安房高等学校教諭 早川敏男
1月 7 日(木)	鉄道の発達とその影響	安房高等学校教諭 早川敏男
1月24日(木)	公開講演会 里見の足跡を訪ねて	里見氏末裔 里見和彦

日程と講座内容、講師は左表のとおり。時間は午後一時三十分から三時三十分。定員は六十人です。

岡其昌館では、幼児・低学年用  
を対象に職員とボランティアによる  
告話や手遊び、紙芝居などを  
楽しむお話し会を開いています。  
曜日の午後二時から。参加料  
す。日時は毎月第一、第三十



お話し会へと矢張

A black and white line drawing of a woman with short hair, wearing a collared shirt. She is holding a rectangular frame with both hands, which contains a smaller illustration of a child sitting on the floor. The background behind her is a dotted line.

平成 2 年 9 月 15 日

(日)に、コミュニケーションセンターで開催する市民美術品展に展示する作品を募集します。

市民の皆さん、大切にされている美術品をお借りして、それらを一堂に展示。価値ある美術鑑賞の機会を提供しようと/orするものです。絵画、彫刻、書など、これぞと思う作品をお寄せください。出品にかかる経費は主催者側で負担します。

展示作品には、所有者の解説も付けますので、コメントを百字程度にまとめてお願いします。なお、所有者の公表を希望されない方は申し出を。

連絡先／十月十三日までに、市文化団体連絡協議会事務局（市

三二二（内）  
教育委員会  
文化祭  
作二  
十一月二  
文化祭市  
作品を募  
ーは、団体  
も、作品を  
つくつたも  
写真、繪  
き生かしき  
さい。出し  
月二十日ま  
氏名、電話  
を書いて、  
化課（北各

## 文化祭市民コーナー 作品を募集

内線二〇六）へご連絡  
お市市民コーナー  
品を募集

百日ぜき、ジフェリア、破傷風の三種混合予防接種の三回目を行います。該当地区公民館へどうぞ。つごうのつかない人はほかの会場で受けてください。

該當者／一期は、生後二十四か月から四十八か月までの子で三回受け初回免疫になります。二期追加接種は、一期を受けた後、一年から一年半の間に一回必要です。年齢は六十六か月まで受けられます。

注意／料金は無料。当日体温を計つてください。三十七度以上は受けられません。母子手帳と筆記用具をお忘れなく。問診票は、記入もれのないよう注意してください。

## 三種混合の授業

参加料／一千五百円

実施場所	月日	曜	実施時間
神戸地区公民館	10月26日	金	10時～10時20分
富崎地区公民館	10月26日	金	10時30分～10時50分
西岬東地区公民館	10月26日	金	14時～14時20分
豊房地区公民館	10月26日	金	14時40分～15時
那吉地区公民館	10月29日	月	10時～10時30分
船形地区公民館	10月29日	月	10時40分～11時
館山地区公民館	10月29日	月	14時～14時30分
九重地区公民館	10月30日	火	10時～10時20分
館野地区公民館	10月30日	火	10時30分～10時50分
保健センター	10月30日	火	14時～14時30分

## 体力づくりに 卓球・軟式テニス教室

対象／十八歳以上の市民で  
心者。先着三十人

対象／十八歳以上の市民で初心者。先着三十人

20XX年

# 明日の館山づくりに

## シナリオ 4題

館山駅西口地区土地区画整理事業

南房総広域水道企業団

広域幹線道路網

公共下水道

館山駅西口地区  
土地区画整理事業

美しい街なみに  
人がにぎわう



「美しい街なみに、人がにぎわう」  
これは、そんな街づくりです。

いま、市では館山駅西口地区土地区画整理事業を行っています。西口をつくり、駅東西を一体化することによって、より便利で、にぎわいのある街を創出しようというわけです。しかも、便利さやにぎやかさに加え、街なみの美しさを備えた「海洋性リゾートタウン館山」の西の玄関口にふさわしい街づくりを目指しているのです。

南欧風の街なみを目指し、交通広場や公園、歩道、街路灯など公共施設のイメージをスペイン風に統一していきます。民間建築物も、これは権利者のみなさんと話し合いを進めなければいけませんが、できるだけ南欧風のイメージになるような街づくりを考えています。

安房地域の中核都市に  
ふさわしい玄関口づくり

JR館山駅周辺を安房地域の中核都市にふさわしい玄関口にしよう

20XX年、海洋性リゾートタウン館山。住む人が誇りに思い、いつまでも住みつけたいと願う街、それがわたしたちの目標す明日の館山市です。

人がいこい、安らぎ、にぎわうシーンがもう目の前に見えています。

そんな未来の街づくりに向け、いま大きな事業が動きはじめました。それは、明日の館山づくりのシナリオです。

人の生活の基本となる部分、上下水道や道路、街が、いまどのようになっているのか、その機能や姿もいっしょにお知らせします。

今年度、権利者のみなさんの移転先となる土地を定め、3年度から建物などの移転や道路などの工事をはじめる予定です。便利で、快適な館山駅西口の完成は8年度を目指しています。

事業費は、全体で20億3,500万円。このうち、国が5億5,100万円、県が3,750万円を補助し、残り14億4,650万円を市が負担します。

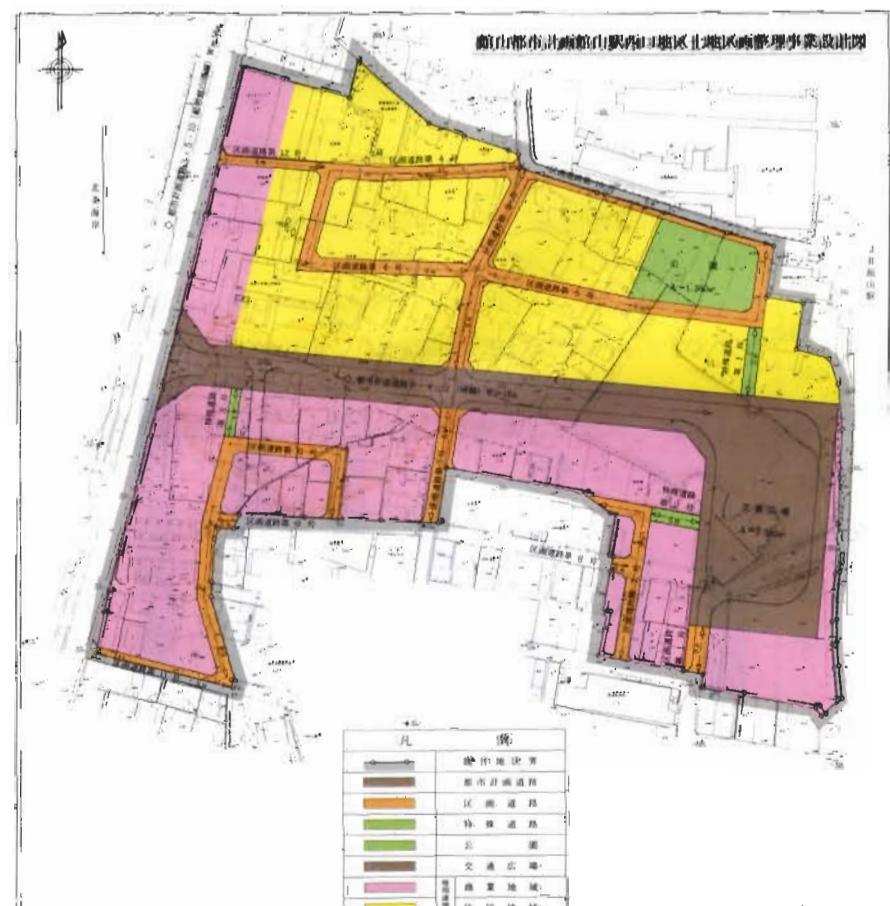
### 東口と西口を結ぶ 自由道路なども

この事業によって整備される交通広場の完成に合わせ、館山駅の東口と西口を結ぶ自由通路の建設も計画

し、将来は橋上駅舎になるようJR東日本や国鉄清算事業団などの関係機関と協議を進めているところです。これにより、今まで東口しかなかった館山駅も東西が一体となり、より便利で、にぎわいの駅前の街ができることになります。

また、駅西口から北条海岸までの都市計画道路の完成に合わせ、これに接続する海岸道路の整備も計画しています。

さらに、西口地区的排水状況を改善するため、北条海岸排水路改修工事を実施しています。昭和62年度60m、63年度80m、元年度127mが既に工事を終え、今年度は58mを予定しています。



### 3年度から工事、 8年度に完成を目指し、

「館山駅西口地区公共団体区画整理補助事業実施計画」が7月26日、建設省の承認を得ました。これで、

## 南房総広域 水道企業団

# 水がきて 街は息づく

## 水不足を解消 広域水道企業団を設立

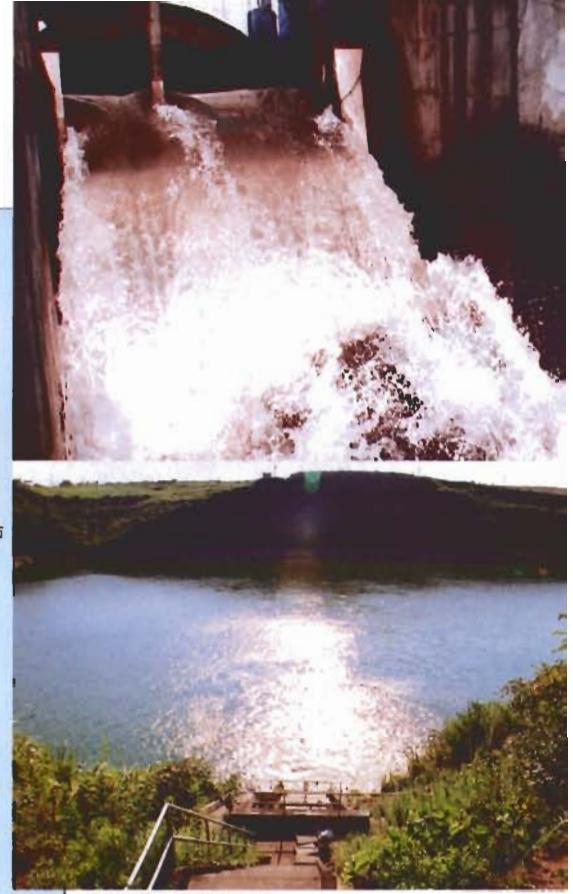
8月1日、安房・夷隅郡市の17市町村で南房総広域水道企業団を設立しました。この企業団は、利根川から水を引き、県南部地域の慢性的な水不足を解消しようというもので、7年度には、館山市など14市町村に水の供給ができる見込みです。これにより、現在、未給水の九重地区などにも水道が敷かれるほか、夏季の水不足が解消されます。また、リゾート関連の新たな水需要に対応できるばかりでなく、最先端企業の誘致なども可能になります。やはり、水は都市の活力の源というわけです。

## 深刻な水不足 ますます増える水需要

県南部には、新規水源開発のできる河川や大きなダムを作るのに適当な場所がありません。

このため、各市町村は、それぞれ地下水や小規模ダムに水源を依存し、これまで、再三渇水に見舞われ、特に夏季の水不足は深刻です。一方、水の需要は、わたしたちの生活様式の変化とともにますます増大し、さらに今後、リゾート関連施設が増え、新たに最先端企業の誘致などを考えると、大幅な水需要が見込まれます。

わが市にとって、長期的に安定した水源の確保は緊急の課題となっていました。



長柄ダムに利根川の水が………



## 利根川から水を引き、 企業団から水を買う

安定した水源を確保するためには、ダムの建設、地下水の利用、海水の淡水化などの方法が考えられます。しかし、確保できる水量は十分かどうか、水源の安定性や経済性はどうか、また、水を確保できる時期などを総合的に検討してみると、現在、房総導水路で長柄町まで引いていた利根川の水を利用する方が最適です。

そこで、安房・夷隅郡市17市町村が共同して水道企業団を組織し、長柄ダムから水を引いて各市町村などの水道事業体に水を供給することにしたのです。それが南房総広域水道企業団です。

ですから、館山市は、この企業団から水道用水を買い、みなさんの家庭に供給することになるわけです。もちろん、今までの水源、つまり

作名ダムや地下水などは、そのまま利用していきます。

## 130kmの導水計画

現在、長柄ダムには66kmの房総導水路を通じて、利根川の水が貯留されています。この計画は長柄ダムの原水を大多喜町まで導水管で引き、浄水場を建設し飲料水にして各市町村の水道事業体に送らうというものです。

送水管の口径は最大1mで、各水道事業体は自分のところに建設した配水池で受水し、これを各家庭に給水します。

管の総延長は、長柄ダムから大多喜町の浄水場、勝浦、鴨川などを通り、館山、白浜までおよそ130kmになります。大多喜町の浄水場近くには、夏のピーク時の水需要に備え、原水調整用のダムも建設されます。

## 総事業費約660億円、 7年度に通水

この事業の計画給水対象は、17市町村の14水道事業体で、計画水量は1日最大給水量が55,060m<sup>3</sup>。3年度から工事に入り、9年度に完成します。ただし、7年度には水が不足する館山市など14市町村に通水する予定です。

総事業費は約660億円と莫大な経費が見込まれていますが、企業団か



ら各水道事業体に供給する料金は、同様の企業団、九十九里地域水道企業団と同じくらいになるよう県が検討しています。

## 館野・九重地区の 未給水地域にも

南房総広域水道企業団から、7年度には受水できる見込みのため、市では現在、第3次拡張事業の基本計画を進めています。

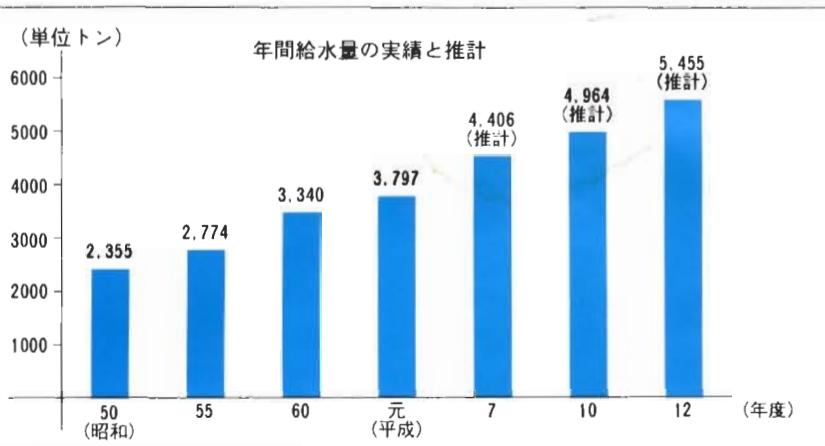
3年度に国の認可を得て、水道未給水地域の館野・九重地区に上水道の設置を進めます。工事は4年度はじめ、6年度に完成、7年度から給水をはじめる予定です。

## 南房総広域 水道企業団

南房総広域水道企業団は、安房・夷隅郡市の17市町村に水道水を供給するため、地方自治法に基づく一部事務組合として8月1日、知事から許可され設立しました。来年3月には、水道法の事業経営認可を取得する予定です。

この企業団は水道法に基づいて、水道用水供給事業を行うもので、具体的には各市町村の水道事業体に対し水道用水を売ることになります。

このような水道用水供給企業団は現在、県内に九十九里地域水道企業団など5つの企業団が既にあり、これで6団体目になります。



## 広域幹線道路網

### 都心へ1時間ちょっとの フリー・ウェイ

本市は、東京から100km圏内に位置し、JR内房線や国道127号線で都心と結ばれています。安房地域では政治、経済、文化などの中心都市として、地域交通の拠点となっています。しかしながら、鉄道は単線区間で、国道は幅が狭いうえ、曲がりくねっていて、いつも渋滞しています。

このような状態を解消するため、昭和48年から、およそ40回にわたり国、県への陳情を繰り返し、いま、ようやく先が見えてきたところです。館山バイパスは今年度中の完成を目指して、工事が急ピッチで進められていますし、その先の富浦から富津までの127号高規格道路も部分的に橋やトンネルの工事が行われています。富津からは、東関東自動車道館山線として、既に建設省の基本計画にも位置づけられ、東京湾横断道路も本格的工事に入っています。

都心まで、フリー・ウェイで1時間ちょっと。そんな海洋性リゾートタウン館山の時代がもう少しで始まるとしているのです。

## 東関東自動車道館山線と 127号高規格道路

平成8年には、館山バイパスから127号高規格道路で富津まで、そこからは東関東自動車道館山線に乗り、千葉へ約1時間。東京へは、東京湾横断道路、高速湾岸線で約1時間半になります。



東関東自動車道館山線は、千葉を始点として木更津を通り館山まで延びてくる構想なのですが、現在は、富津までしか計画が決まっていません。富津からは、金谷道路、鋸南道路、富山・富浦道路の3本で127号高規格道路となり、館山バイパスに接続します。高規格道路というのは、高速道路と同じに考えてください。

それでは、127号高規格道路の進み具合はというと、千葉国道事務所の説明によれば、富山・富浦道路が地元説明会を終え、これから用地の取得に入ろうとする段階。鋸南道路は、95.7%、金谷道路は81.2%まで用地取得が進み、一番大きな鋸南トンネルの工事が今年の2月に始まり、4年3月末の完成を目指しているということです。実際に日に見えて、工事が進んできているわけです。

### 市街地の渋滞を緩和 八幡高井線とバイパス計画

一般国道127号館山バイパスは、コミュニティセンター前の国道128号との接続点から富浦町多田良に至る7.6kmのバイパスです。現道の127号線は、幅が狭くてカーブが多く、人家が密集しているため、道路を広



げるのではありませんに困難です。このため、建設省に働きかけ、別路線で、ということで、いまのバイパス計画となつたのです。

館山バイパスの館山市内の分は、今年度の改良工事が完成すれば、市内の主要幹線道路として暫定2車線が通行できるようになります。既に、今年5月には都市計画道路八幡高井線が完成し、バイパスから海岸道路に連絡し市街地の交通渋滞の緩和を図り、西岬や白浜方面への交通を円滑に誘導する役目をはたしています。

現在さらに、館山バイパスと県道館山白浜線をバイパスで結ぶ事業、すなわち、館山白浜線バイパスの事業化促進を県にお願いしています。

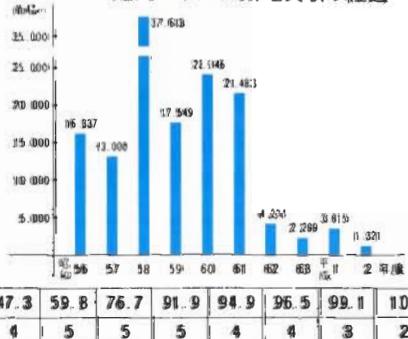
これは、館山バイパスからコミュニティーセンターの脇を通り、県道館山白浜線の上真倉区に接続する延長2.3km、幅員25mの歩道付きの4車線道路です。

今年の11月頃から用地測量を行い、来年度以降が用地買収、7年度の完成を予定しています。このバイパスが通行できるようになると、平砂浦方面へのリゾート客が適正に誘導され、市街地での慢性的渋滞が解消されることになります。

### リゾート地らしい 道路景観も整備

道を単なる機能としてみれば、確かに、ある場所へ早く、安全に移動できれば、それで十分なのでしょう。しかし、わたしたちがどこかに旅行などしたとき、その街の印象は、道から見て決めています。自分の街を

館山バイパス用地買収の経過



人に話すときにも、道から見える景色や建物のことが話の中心になるものです。道は街の顔といつてもいいかもしれません。そこで、市では127号バイパスの沿線に景観の整備も重ねて要望してきました。

バイパス沿線の景観は、地中海風のリゾートデザインを骨格にして、ヤシの木、次にイトスギというようにだんだんに変化させ植栽されます。そして、北条小学校付近では、しゃ音壁を設け、赤色系の石でスペイン壁がつくられます。

八幡高井線では、サザンカ、ツツジ、ツバキなどを植栽し、八幡神社付近の歩道には、道路景観との調和をとり、和風タイル舗装をしています。

### 用地買収、それは、 地権者の理解と協力で、

道路をつくるには、まず用地を取得しなければなりません。用地買収は、道路づくりには欠くことのできない大きな仕事のひとつです。市では、バイパスの早期完成を図るために、昭和56年に都市計画課用地係を組織し、本格的な用地取得にのりだしました。

用地買収というのは、多くの地権者との利害をからめた交渉になります。最高時には、5人の専任職員が夜昼なく、権利者との交渉にまわりました。始めの段階では、比較的多くの用地が取得できるものの、最後になると交渉はなかなかはかどりません。そして、10年目の今年、ようやく達成できたのです。ここでとても大切なことは、これらの地権者のみなさんの理解と協力が、わたしたち市民の便利さを生んだということです。



## 公共下水道

### きれいな海や川を 守りたい



今、館山市は、長年の課題となっていた道路、水道などの解消とともに生まれ変わろうとしています。市民全体の大切な財産であり、館山市の街づくりの特色ともなる、きれいな河川や海を保ちつつ、快適な居住環境を形成するため、これから館山市に公共下水道の実現は必要不可欠なものです。このたび、平成11年度一部供用をめざし、その基本計画を策定しましたのでお知らせします。

#### 将来に備えて今から準備

近い将来、館山市は東京湾横断道路や東関道館山線、南部広域水道などの整備により、人口増加や生活排水量の増加が予想されます。下水道は完成しても地下にあるので、街の景色が目に見えて変わるでもなく、今すぐに着手してもすぐに結果が出てくるような事業ではありません。しかし、下水道無しに街づくりを進めては、今ある豊かな自然環境を失うかもしれません。ですから今から準備していくことが必要なのです。

#### 「館山処理区(仮称)」 市街地を中心に1.197ha

市では昭和63年度に下水道基礎調査を実施し、その後、処理区を中

#### 健康づくりの中核施設

—県立館山運動公園—

今年5月、藤原の県立館山運動公園内に体育館が完成。こけら落としには、新体操の秋山エリカ選手らを呼び、先月は「ブーロフラメンコ館山'90」で3,500人余りの観客を収容したこの体育館は、延床面積6,020m<sup>2</sup>、アリーナ部分が2,160m<sup>2</sup>、このほか880の観客席や大小会議室が整備された、県南随一の体育館です。この体育館の完成で、館山運動公

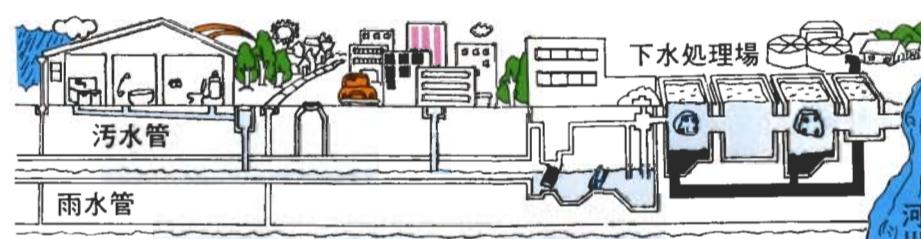
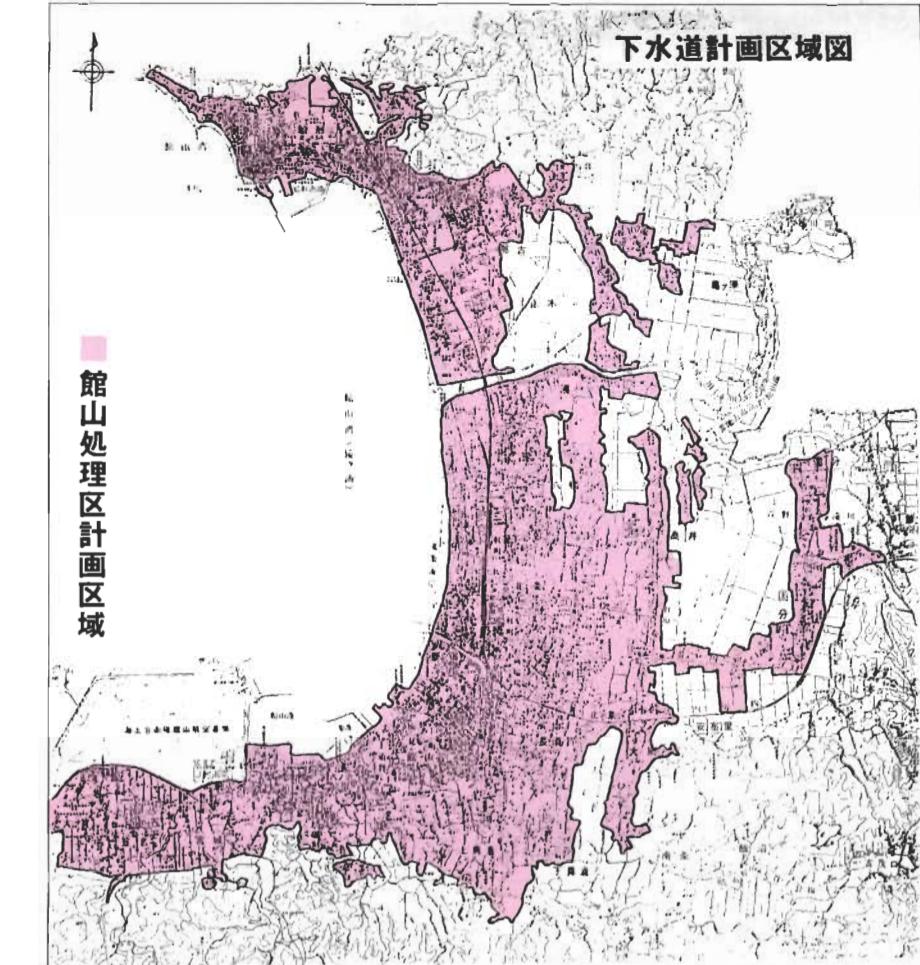
心に、目標年次、排除方式などを定めた公共下水道基本計画の策定作業を進めてきました。

**計画処理区域**／市全域を調査した結果、緊急に改善を必要とする船形から館山地区にいたる既成市街地を「館山処理区(仮称)」(右図)と定めました。その面積は、1,197haになります。

**目標年次**／目標年次を将来の人口増加や市街地の拡大に合わせ平成20年とし、対象人口を50,910人、処理汚水量を28,400m<sup>3</sup>としました。

**排除方式**／雨水と污水を分けて集める分流式を採用します。雨水は都市下水路などを通じ河川へ放流し、污水は処理施設へ送り浄化処理をしたあと河川へ放流する方式です。降雨時の排水機能や水質の保全効果に優れ、経費面でも有利です。

**事業費**／下水管理設や処理場建設など、概算で約360億円が見込まれ



ます。

#### 館山市最大規模の事業

下水道は河川や海がきれいになるだけでなく、悪臭や蚊、ハエの発生源となるドブがなくなり、トイレが水洗化するなど、快適な居住環境を造りだす町づくりの土台として、水道や道路とならび必要な都市施設です。下水道の事業費は概算で360億円が見込まれていますが、これは平

8,000m<sup>2</sup>の用地を取得しました。

昭和50年7月、「南房総に県営スポーツ・レクリエーション施設を建設することに関する陳情書」を県知事と県教育長に提出。館山運動公園の建設を促進するため、このほかにも機会あるごとに県に、その必要性を要望しました。

こうした経過のもと、昭和52年3月、県都市計画課は館山運動公園の基本計画、設計説明書を作成。事实上の運動公園整備の幕開けでした。そして、昭和53年度に測量、地質調査、造成設計を、翌54年から工事にとりかかり、今日の完成を見たというわけなのです。

成2年度の館山市一般会計予算が約115億円であることと比較しても館山市最大規模の事業となることは確実です。

#### 5年度工事を始め、 11年度一部供用を

下水道の建設には莫大な時間と資金がかかるため、みなさんの理解と協力、そして多くの負担を必要とします。まず、下水道の建設、維持管理は市の仕事ですが、各家庭からできる排水の施設はみなさんの負担で施工していただきます。整備される地域のみなさんには、建設費の一部を受益者負担金として負担していただきます(全国平均は建設費の1.9%)。また、完成後は下水道使用料を負担していただきます。

建設は、主に道路の地下を利用します。地域内のほとんどの道路で工事を進めるため、この期間、市民全体に不便をかけることも生じます。

今後は、これらの問題も含め、この基本計画をもとに、地元説明会など、みなさんとの合意のうえで平成3年度都市計画決定。平成5年度工事着手、平成11年度末には一部区域の供用を予定しています。